



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tana/>



信号を 信じて渡る 実朝忌

～ 佐伯 昭市 ～

「実朝忌（さねともき）」とは鎌倉幕府 第三代将軍 源実朝（みなもとのさねとも）が亡くなった日のことです。実朝は、小倉百人一首にも「世の中は つねにもがもな なぎさこぐ あ

まの小舟の 綱手かなしも」という歌が収められるなど優れた歌人としても有名です。武士として初めて右大臣という高い官職にまで昇りつめますが、建保7（1219）年旧暦1月17日（新暦の2月13日）雪の中、鎌倉鶴岡八幡宮を参拝した際、石段を下りる途中で飛び出してきた刺客に暗殺されました。（実際には諸説あるようですが、石段下の大イチョウが有名ですね。）

学生の頃、この俳句を読んだ時『今、自分は何の疑いもなく青信号を信じて横断歩道を渡っているが、今日はあの源実朝が亡くなった日だったなあ』と事件のことを考え、少し不安な気持ちを抱いている作者を思い浮かべました。そして、安全だと今自分が信じ込んでいるものは、本当にそうなのか？と問いを投げかけられたような気分になったことを覚えています。

さらに時間が過ぎて、世の中では少し前の「飲酒や違法薬物摂取による暴走車」や、最近の「あおり運転」など交通事故に関する痛ましいニュースが今でも流れています。事故にあわないように自分が青信号を確認して横断歩道を歩いていたとしても、また、自動ブレーキ装置など安全面が飛躍的に向上していても、それを扱うのは人間であり、十分に気をつけなくてはならないのは歩行者も同じです。もし衝突してしまったら絶対にクルマには勝てません。

今年度4月から田奈中生の登下校については、継続的にご注意をいただいております。狭い歩道を広がっていたり、傘をさして周囲に気を配れなかったりとさまざまなおしかりをいただきましたが、人とクルマ、あるいは人と自転車が事故となってしまうと、みんなが不幸になってしまいます。そんなことが起きませんように、それぞれが自分の最大限の注意を払っていかなくてはと思います。中学校でも、今後も指導を続け生徒の安全な登下校を目指してまいります。保護者の皆様、地域の方々、お気づきのことがありましたら、中学生にもお声をかけてください。素直に「ごめんなさい」「気をつけます」と言える生徒に育ててほしいとの思いをもって、これからも中学校は指導をしてまいります。



3年生は3月11日の卒業証書授与式まで、残りわずかとなりました。主役である3年生のみなさんは、これまでの経験をすべてプラスの力に変えて、自信と決意を胸に、そして支えてくださったすべての人に感謝して田奈中を巣立って行ってほしいと思います。1・2年生もそんな先輩たちの姿を見て、これからの田奈中を背負っていく意識を高めているところです。

学校としても回答していただいたアンケートに基づき、30年度の学校評価のまとめを行い、来年度の準備も始める時期となりました。生徒たちのために、伝統として守るべきことと、変化を恐れず新たなステージを目指すことを両立させていくために、教職員も一生懸命考えてまいります。

（副校長 我妻智之）

<2年百人一首大会> 1月30日(水) 4・5校時

インフルエンザが流行り始める時期。全員がマスク着用で臨んだ2学年の百人一首大会。今年も「日本一レベルの高い校内百人一首大会」をめざして1月30日(水)に行われました。体育館一面の前に座り、はじめは緊張の面持ちでしたが、試合が始まると、真剣に、熱い戦いに挑んでいる姿が印象に残りました。

「〇組、取ったよ〜!」「ナイス!」と声を掛け合う場面も見られ「ちはやふる」の世界が再現されているようでした。また今年も、前人未踏の14期クイーンを務めた渡辺令恵永世クイーンが来てくださり、慶応大学の学生の草場さん、留学生のエリオナさんも講師として指導に加わっていただきました。試合の合間で、生徒一人ひとりに声をかけてくれ、子どもたちの目がキラキラ輝いていました。

最後に、生徒代表との試合を披露してくれ、“スピードの女王”と称された頂点の技を間近で見ることができ、“本物の迫力”を体感したのではないのでしょうか。

1位は3組、2位が2組と6組、3位が5組でした。とても素晴らしく、戦った生徒にも、見ていた者にとっても、心震わせる素晴らしい大会でした。3年生になってからも、100%で臨んでほしいと思います。

また、日本の伝統文化の継承者として、身につけた技能や楽しさを、次代に広めていってほしいものです。



<2年国際理解教室・学年道徳> 2月4日(月) 5・6校時

2年生の学年道徳として、国際理解教室を開催しました。公益社団法人「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」の方を講師にお招きし、お話をうかがいました。

生徒感想を紹介します。

世界には未だに多くの人々が5歳未満で亡くなっている。知識として学んだこともたくさんあるが、一番そのことが印象に残った。自分には直接関係がないことだとか自分さえよければという人もいるが人間がおこしたことのせいでこのような結果を招いているという事実気付くべきだし自分たちで解決しなければならないと思う。



今回の国際理解教室を通して、募金活動など私たちに出来ることは何か考える姿が多く見られました。考えたことをぜひ行動にうつしてほしいと思います。

<新年書き初め展>

横浜市総合文化祭書き初め展が、1月中旬、市民ギャラリーで、緑区中学校書き初め展が1月19日～1月31日、緑図書館ギャラリーで開催されました。

本校からは、3年 伊藤 麻帆さんの作品が横浜市の書き初め展に、1年 阿部 心和さん、2年 霞流 華恋さん、3年 佐々木 涼葉さんの作品が緑区の書き初め展に出品されました。どの会場もたいへん盛況で、緑図書館からは、作品を見た方から「どの作品も堂々としており、ふでづかいにまよいがなくて、とても格好良かったです。

(中高生)」や「非常に力強く自信を持っており、頼もしいと感じ、日本古来の書の道、見事に表現。中学生万歳！(60代)」などの感想もいただいています。

現在作品は、印刷室前に掲示されています。



平成31年2月 部活動・教科 活動報告 (敬称略)

【ソフトテニス部】

<女子>



第25回横浜ジュニアソフトテニスインドア大会

2月2日(土) 会場: 横浜国際プール

女子団体の部 優勝

井上, 酒井, 木上, 初澤, 長濱,

稲村, 須藤, 長谷川

【国語科】

第68回横浜市中学校作文コンクール

平成30年12月26日

最優秀(俳句) 2年 北崎 結大

佳作(詩) 3年 栗又 朱里

佳作(読書感想文) 2年 木村 結

【剣道部】

緑区剣道連盟1級審査会

2月3日(日) 会場: 星槎学園北斗校

1級合格 山本ルイス 柴山 璃々 高山 夏凧

神奈川県中学校1年生剣道大会

2月9日(土) 会場: 海老名市総合体育館

女子団体の部 ベスト16

中里 璃乙, 高山 夏凧, 秋貞 野々花, 道祖尾 咲妃,

佐々木 瑠夏, 木村 優希, 柴山 璃々

横浜市中学校剣道強化リーグ

2月16日(土) 会場: 横浜市立田奈中学校

女子団体の部 ランキング2位

霞流 華恋, 渡邊 鈴葉, 椎野 愛実, 瀬尾 秋穂,

高橋 美依, 濱口 来, 小川 梨乃, 橋本 怜,

車谷 妃奈子, 岡本 ありさ, 増田 りおん



【男子バレーボール部】

第34回 横浜杯

1月27日(日), 2月3日(日)

会場: 横浜市立中川中学校

B1リーグ 優勝

横浜市立学校総合文化祭書写展学校代表

平成31年1月16日

3年 伊藤 麻帆

緑区書き初め展学校代表

平成31年1月31日

1年 阿部 心和

2年 霞流 華恋

3年 佐々木 涼葉

スクールカウンセラーによる

“心の何でも相談日”のご案内

3月1日・8日・15日・22日(金)

*相談時間は通常、9時～17時

☆場所 田奈中学校

保健室並びのカウンセリングルーム

☆連絡先: カウンセラー専用直通電話

045(981)8461

これからの“スマホ社会”を正しく生き抜くために…

神奈川県警察ホームページより